

一人ひとりの市民が主役

2013

9月

No.800

(平成25年9月13日発行)

広

報

阿久根



CONTENTS 目次

- 2 P 【特集】 広報あくねは
おかげ様で創刊800号
- 4 P ジビエ料理教室スタート
- 5 P オンリーワンの駅、
阿久根駅をめざして…
- 6 P みんなのアルバム
- 10 P 『第15回あくね洋画展』開催
- 12 P 阿久根市青少年少女弁論大会
- 14 P 新任のA L T紹介
- 15 P 働く女性の家後期講座
- 16 P 認知症予防講演会のご案内
- 17 P 阿久根市民病院の名称が
10月1日から変わります
- 18 P 健康コーナー
- 20 P 暮らしの情報
- 22 P 読者のお便り紹介
図書館へ行こう
- 23 P うぶごえ、おくやみ ほか
- 24 P フレスマ+アクネの元気者

これからもよろしく
お願いします！

【特集】
広報あくねはおかげ様で
創刊800号→2P

創刊800号 広報あくね

紙面に込められた思い
市民に親しまれ、
愛される広報誌に

本紙「広報あくね」が記念すべき800号を迎えました。

阿久根市制が施行された昭和27年4月に発行を始めてから61年と6か月。800回の発行までに多くの広報担当者が携わってきました。

紙面の内容も行政のお知らせだけでなく、地域で活躍されている皆さまの活動や伝統行事など、生活に密着した話題を掲載し、取材させていただいた方々の生き方や考え方、子どもたちの夢などを伝

えてきました。

それは、その時々を担当者が、それぞれの思いを込めて、阿久根の歴史を刻みながら制作してきたということでもあります。

これからも市民の皆さまのご協力とご指導をいただきながら、親しまれ、愛されるような「広報あくね」づくりに努めて参りますので、今後ともよろしく願います。



『阿久根市広報 第1号』

昭和27年4月発行

「広報あくね 第1号」は、阿久根市制施行の年である、昭和27年4月にうぶ声を上げました。当時はほぼ手書きで印刷された新聞形式（タブロイド版）で、総ページはわずか2ページ。

第1号の見出しには、「市制の喜びに明けた阿久根 決意を新たに発展に邁進!!」と書かれており、市制が施行されたことで、市全体が高揚している状況を伺い知ることができます。





濱之上訓衛さん（85） 下村区
三笠町と合併した年の昭和30年4月20日発行の66号から広報担当者を務められ、100号の記念誌も制作されました。市職員を経て、昭和62年8月には、第11代収入役を務められました。

今 回、「広報あくね」が創刊800号を迎えたことを記念し、初期のころに広報誌を作成されていた歴代の担当者であるお2人取材し、コメントをいただきましたので、掲載いたします。

今でも初めて担当した時のことを覚えていて

広 報担当者がホッとして幸せな気持ちになるのは、発行した日の半日だけでした。

というのも、創刊当初のころは、今と違って毎月5日と20日の月2回発行していたからです。発行して半日経つと、「さあ、来月の大見出しの記事はどうしようかとか、他の記事は何をどのようにして掲載しようか」と、いつもその



▲昭和30年4月20日に発行された広報紙第66号

ような事ばかり考えていました。通算で10年ほど担当しました。が、今でも初めて担当した時のことを覚えています。

いい思い出としては、広報誌の全国コンクールで入賞し、三重県で行われた授賞式に出席したことです。

また、今でも100号を作った時のことを昨日のことのように覚えています。800号を迎えたのかと思うと、年月の長さを感じずにはいられません。

今月の題字

阿久根



なかむら
中村

まりん
真鈴さん
山下小6年

ひと言

阿久根は、水質がAA級に認定されたきれいな海と自然に囲まれた、魅力いっぱいの街だと思います。海に沈んでいく美しい夕陽が私のおすすめです。

将来の夢は医師になることです。貧しい国に行って、病院に行けない人たちを助け、笑顔にできたらいいなと思います。

市職員の肩書を外し、市民目線で制作するように

私 は、濱之上さんの後任として、担当することになったとき、当時の丹宗忠市長から、「君は市職員としての肩書を外して、市民とたくさん交流し、市民目線で広報紙を作成するように」と指導されました。そこで、市民の皆さまが手に取って喜んでもらえるような



▲昭和35年11月1日に発行された広報紙第165号

広報誌を作ろうと、表紙写真が大きくなるなど、当時、どこの市町村もやっていないような型破りな作り方をしていたのを思い出します。



畠中保さん（87） 遠矢区
表紙写真に、ひときわ目を引くような大きな写真を掲載し、市民から好評を得ました。市職員を経て、市議会議員を4期務め、平成5年には第21代市議会副議長も務められました。

ジビエ料理Ⅱジビエとは、狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化です。

シカもも肉のロースト（上）▶とシカ肉（ロース）のトルネードステーキ&ジャガイモのピューレ添え（下）。シカは夏が旬。濃味ソースに漬け込んだ、油分が少なく、アク味の少ないシカ肉のローストには、マヨネーズが驚くほどピッタリ。シカ肉のトルネードステーキは、シカ肉のロースに巻いたベーコンがよいアクセントになり、食欲をそそりました。



▲ら・ぼんじよるね 奥平博文シェフによるシカ肉料理の実演。シェフの説明を聴きながら、調理の仕方などに見入る参加者。



◀「こんなにおいしいんだったら、もっと早く調理方法を習っていれば良かった」と、シカ料理を食べながら歓談する参加者。

“ジビエ料理教室”

スタート

7月21日、有害鳥獣として捕獲されたシカの肉を使つての調理方法を学ぶ「ジビエ料理教室」がスタートしました。市有害鳥獣捕獲協会が主催したもので、第1回目は、働く女性の家で開催。主婦など20名が参加し、フランス料理店「ら・ぼんじよるね」の奥平博文シェフが、実際に調理をしながら、シカ肉の下ごしらえや料理のポイントなどについて指導しました。

普段からもらったシカ肉を使つて料理を作っているという中村ミチエさんは、「臭みがなくなり、牛肉よりおいしく感じた。今日教わった調理方法を自分なりに工夫してみたい」と感心しながら話していました。

第2回ジビエ料理教室開催決定

◇日時 10月2日(水)

午後3時〜午後5時

◇場所 働く女性の家

◇定員 24名

※定員になり次第、締め切ります。

◇参加費 千円

※申込・問い合わせ先

水産林務課 林務係

☎0996(73)1165

オンリーワンの駅、 阿久根駅をめざして…



▲阿久根駅舎の改修について、
県庁で記者会見を行う西平良将
市長。



提供：ドーンデザイン研究所



昭 和24年に新築してか
ら今年で64年。これ
まで多くの人たちに愛さ
れ、利用されてきた阿久
根駅舎が、その面影を残
しながらも新しく生まれ
変わります。

市では、観光、特産品、
文化、イベント等の情
報発信を行うとともに、
人々が気軽に立ち寄り、
交流できる拠点を整備す
ること、本市はもとよ
り、北薩地域をはじめと
する沿線地域の活性化と
肥薩おれんじ鉄道の利用
促進につなげようと、県
地域振興推進事業を活用
して、平成24年度から阿
久根駅舎の改修について
検討を進めてきました。

改修にあたっては、「現
在の形を残しつつ、新し
い機能を追加すること」
を基本にし、駅舎のデザ
インは「九州新幹線つば
め」や「指宿のたまて
箱」、肥薩おれんじ鉄道
の観光列車「おれんじ食
堂」を手がけた水戸剛
治氏に依頼し、今回、そ
れが決定して発表された
ものです。

新しい駅舎には、市場やミニコ
ンサート、上映会も開催できる待
合室や沿線の食材を使った料理を
提供する食堂、気軽に利用できる
カフェ、待合室やカフェで自由に
閲覧できる本などを置く図書館・
書店スペース、地域の大人と子ど
もが一緒に遊べるキッズコーナー
など、「まちの公民館」、「まちの
迎賓館」をキーワードに整備して
いきます。

まちと駅と鉄道が、経済と文化
と人とを結び、豊かなコミュニ
ケーションが生まれる、今までど
こにもなかったオンリーワンの駅
に生まれ変わります。来年2月末
に完成予定です。



あくね新鮮おさかな祭り 大勢の来場者でにぎわう

8月11日、阿久根漁港新港水揚げ場で開催され、新鮮な魚介類や水産加工品などが、市価よりも安く販売されるとあって、大勢の来場者でにぎわいました。

会場では、約80kgのキハダマグロの解体ショーや魚のつかみ取り大会、クルージング体験、ステージイベントなどが行われました。

また、水産物の販売だけでなく、アジ・サバ飯やタカエビバーガー

などの阿久根発B級グルメコーナーも設置され、お客さんが列をつくっていました。

会場入口では、来場者に炭火焼きされた大羽イワシが無料で振る舞われ、「昔は阿久根でも、たくさん獲れたんだよね。懐かしくておいしい」と、笑顔で話していました。



▲ステージイベントでは、阿光保育園の園児によるお遊戯や恋kiダンシングの踊り、龍昇太鼓勝目道場の太鼓演奏のほか、薩摩剣士隼人ショーや大抽選会も行われ、盛りだくさんの内容でした。



育て阿久根の漁業後継者 水産教室で漁師を体験

8月20日、漁業後継者対策推進協議会（北さつま漁協、阿久根市、市内中学校の会員で構成）の主催で水産教室が行われ、市内の中学生27名が参加しました。

生徒たちは、午前中に漁師の方々から船釣り、北さつま漁協青壮年部からロープワークを習い、午後は、北さつま漁協女性部の方々から魚の調理方法について指導を受けました。



▲船釣り体験を行った阿久根中学校の生徒と船長の御手洗豊三郎さん（左から2人目）。参加した生徒たちの満足そうな笑顔がとても印象的でした。

御手洗豊三郎さんが操縦する孝栄丸に乗り、船釣りを体験した阿久根中学校の生徒たちは、シイラやハマフエフキ、ネイゴなどを次々と釣り上げていました。一番の大物、オオモンハタを釣り上げた3年生の川下瑛也さんは「船釣り体験は、今回で3回目。毎回、楽しみにしていました。大物を釣ることができていい思い出になりました」と興奮気味に話してくれました。



8月20日は、6年生が5年生を指導する最後の日。先輩と後輩とが、互いに握手を交わして、伝統の継承が行われました。



関ヶ原の戦いが由来の「山田楽」

松崎さんは、「後輩は先輩を尊敬し、先輩は後輩から尊敬されるようになってほしい」と話し、6年生からしっかりと伝統を引き継いだ今年の5年生の上達ぶりに、頼もしさを感じながら、初披露の日を楽しみにしていました。

8月16日から28日までの間、脇本小学校の体育館で、同校の5年生30人が「山田楽」の練習に励んでいました。

「山田楽」は、「めはち」「鉦（かね）」「大太鼓」「小太鼓」の4種類の楽器を打ち鳴らし、独特のかけ声をかけながら飛び跳ねて踊る脇本地区の伝統芸能で、保存会の松崎勝雄さんらの指導のもと、29年前から伝承・保存活動が行われています。

8月20日までの最初の4日間、5年生は先輩の6年生35人からマントーマンで指導を受け、それ以降は、5年生のみで本格的な猛練習を行います。

薩摩藩の強兵策「山下三尺棒踊り」

に薩摩藩が強兵策の一つとして、農民の訓練のために奨励したのが始まりといわれています。三尺の棒（約1m）を持ち、リズムに合わせて独特のステップを踏みながら、「カン、カン」と棒を打ち合っており、踊ります。

保存会会長の牛堀重志さんは、「難しい踊りなので、毎年、練習についていけない子どもが出てくるのではと心配しますが、さすがは山下っ子、今年も全員上手に踊れるようになりました」と嬉しそうに笑顔で話してくださいました。

夏休み期間中、山下小学校では、5・6年生25人を対象とした、「山下三尺棒踊り」の継承活動が行われました。

保存会を中心に、平成3年から毎年実施されているもので、踊りは地域の各種行事で披露されています。



5年生の踊りの初披露は、10月6日の運動会とすることで、練習を一生懸命に行っていました。

イベント

納涼・わきもと元気祭り 大盛況

「こんなに人がどっさい集まるのは、何年ぶりじゃろか」



地元の方々が老若男女問わず出演し、祭りを盛り上げようとする気持ちが一つになっているように感じられました。



サッカー県代表

AFCポルトス所属小学生と、AFCポルトスのコーチが選出



写真左から牟田将吾さん、坂松麗伽さん、山道美琴さん、西平良将市長。

AFCポルトス所属の坂松麗伽さん（阿久根小5年）と山道美琴さん（東出水小5年）、同チームのコーチを務める牟田将吾さん（大尾区）が、それぞれ県代表のサッカー選手として大会に出場し、活躍されました。8月26日、3名がその結果報告に市役所を訪れました。

県代表U-11として8月24日に大分県で行われた中津江CUP女子サッカー交流大会にMFとして出場した坂松さんは3試合で5点も得点し、DFとして出場した山道さんは、失点を0に抑える守りで活躍されました。また、県代表選手として、8月17日に福岡県で行われた九州国体に出場した牟田さんは、宮崎県代表に0-1で敗れましたが、MFでフル出場して活躍されました。3選手とも今後の活躍が期待されます。

本郷町川沿いの通りで8月10日、「納涼・わきもと元気祭り」が開催され、大勢の来場者でにぎわいました。脇本地区の有志で集まった同実行委員会が主催。通りに設けられた特設ステージでは、地元の小学生や高齢者による踊りをはじめ、五つ太鼓演奏、寸劇、男性コーラスの合唱などが披露され、会場は大盛り上がりでした。また、祭りの最後に行われた打ち上げ花火にも、大きな歓声が上がっていました。

実行委員長の渡辺豊治さんは、「祭りを通し、脇本地区を少しでも元気にしたいという思いで開催しましたが、逆にこちらが元気をもらったようでした」と語ってくださいました。



▼国道389号沿いの道路清掃を行う参加者



ニュース

『道の日』で道路清掃活動

8月9日、『道の日』の一環として毎年行っている奉仕活動で、阿久根建友会や北薩地域振興局、市の職員など約100名が参加しました。暑い日差しの中、市内各地の道路沿いの清掃を行ってくださいました。



イベント



南九州硬式少年野球 連盟ドリームリーグ 第3回鹿児島大会開催



◀ 地元からは、小学部・中学部、ともに「オール阿久根」が出席し、健闘しました。

8月3日、4日に南九州硬式少年野球連盟ドリームリーグ第3回鹿児島大会が阿久根市民球場および多目的グラウンドで開催されました。県内外から15チーム、300人が参加し、猛暑のなか熱戦が繰り広げられました。大会結果は次のとおりです。（敬称略）

- ・中学部優勝 谷山ジャガーズ
- ・小学部優勝 垂水ファイターズ

ニュース

阿久根ロータリークラブが 鶴翔高生徒の就職面接指導



◀ 鶴翔高校の生徒たちは、会社経営者による面接は初めてとのこととで緊張している様子でした。

8月1日、鶴翔高校で、就職希望の3年生62人を対象に、阿久根ロータリークラブの会員12人が面接官となり、模擬の面接が行われました。同クラブが、地元高校の生徒たちの就職試験に少しでも役に立てればと7年前から毎年開催しているものです。

面接を受けた生徒は、想定していない質問になると間が空いていたため、面接官から「わからないことは『わかりません』とハッキリ回答することも必要」と指導を受けていました。

ニュース



鶴小6年生が阿久根の 観光パンフレットを作成

「大きく育ったボンタンは
真夏の太陽みたいでしょ」



◀ テーマは「ようこそ私たちのまちへ」。子どもたちの阿久根への思いが伝わってくるようでした。

鶴川内小学校の6年生は、国語の授業の一環で、阿久根の観光パンフレットを2週間ほどかけて手作りしました。作成したパンフレットは、市外の小学校の子どもたちに送付して、阿久根をPRしようということになり、同校の先生の縁もあって、喜界町や出水市内の小学校に送付されました。

桑原涼介さんは、「今回の制作を通して、阿久根には自然だけでなく、いい所がいっぱいあることに気付きました。パンフレットを見てくれた人にはぜひ、遊びに来てほしいです」と話してくれました。

イベント

第32回B & G会長杯 校区対抗女性ミニ バレーボール大会開催



◀ 誰でも手軽に楽しめるミニバレーですが、白熱した試合が展開されました。

8月18日、市総合体育館で、B & G会長杯校区対抗女性ミニバレーボール大会が開催されました。毎年、区民同士の親睦を目的に開催されており、32回目を迎えた今年は、7チーム、51人が参加しました。

- ・優勝 大尾区
- ・準優勝 上野区
- ・第3位 大丸区、的場区



受賞された皆さん（市民会館）



◀ 8月24日(土)のオープン初日には、内川達先生によるギャラリートークが行われ、来場者は熱心に聞き入っていました。

『第15回 あくね洋画展』開催

～様々なテーマで描かれた
力作330点を展示～

「第15回あくね洋画展」が、市民会館大ホールで8月24日～9月1日まで開催され、1,287人の来場がありました。

県内外から一般の部（高校生以上）248点、ジュニアの部（小・中学生）829点と、数多くの応募がありました。

審査員からは、応募数が多いだけでなく、作品のレベルが年々上がっており、賞や作品展示などが限られている中、審査が難航したとのことでした。

展示会場では、阿久根の自然豊かな風景や人物など様々なテーマで描かれた力作330点の入選作品に加え、15回目の記念展ということでも、第1回から第14回までに一般・高校生の部で「あくね洋画大賞」を受賞した作品14点も展示され、来場者は改めて見入っていました。



▲委嘱作家賞

『回帰（夏がやって来た）』
藤原 和郎（鹿児島市）

◎ジュニアの部（小・中学生）

(敬称略)

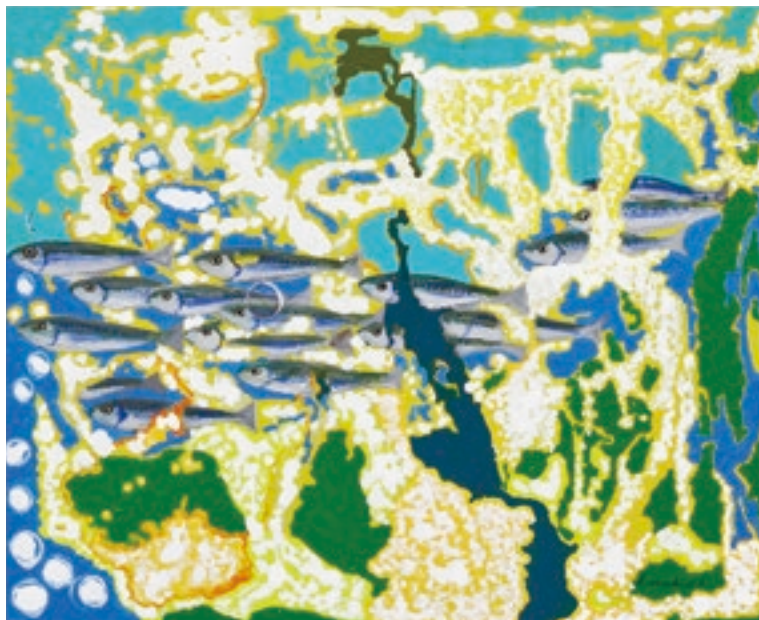
賞名	氏名	画題	学校名
あくね洋画大賞	尾原 拓哉	ぼくのかまきりかつこい	田代小2年
阿久根市長賞	白石 陽翔	船	阿久根小3年
阿久根市議会議員賞	團本 時紘	楽しく木登り	田代小4年
阿久根市教育委員会賞	阿久根小学校		
阿久根市文化協会賞	牟禮 魁帥	音楽室の楽器	大川中1年
県美術協会賞	松下 沙矢	学校の小さな池	下水流小6年
南日本新聞社賞	釜 治暉	紫尾神社	高尾野小5年
特選	赤崎 春菜	わっかであそんだ	西目小1年
特選	雷田 敬斗	かまきりのはたけ	折多小1年
特選	福田 真吾	バック	阿久根小2年
特選	北園 優生	きれいないせえび	脇本小2年
特選	畦浦 真滉	しいく小屋	高尾野小3年
特選	堀 夏花	リコーダー大好き	九玉小3年
特選	末野 遥奏	きれいな紫尾神社	高尾野小4年
特選	黒崎 勇馬	消防車	阿久根小5年
特選	松尾 遼	夢への道路	阿久根小6年
ギャラリー賞	尾原由樹菜	がんばる大工さん	田代小5年
ギャラリー賞	團本 聖真	友だちの自転車とサッカーボール	田代小6年
ギャラリー賞	天辰 一風	ぼくたちみんなの神酒造	高尾野小6年

◎一般の部（高校生以上）

(敬称略)

賞名	氏名	画題	地域
あくね洋画大賞	時内 一行	海II	阿久根市
阿久根市長賞	広高 涼	港の鱗と記憶	出水市
阿久根市議会議員賞	山元 敏弘	私的風景	阿久根市
阿久根市教育長賞	樋渡 史生	見えた	薩摩川内市
委嘱作家賞	藤原 和郎	回帰（夏がやって来た）	鹿児島市
阿久根市文化協会賞	桑原タツ子	漁具の休日I	阿久根市
県美術協会賞	川崎 貴朗	家族の肖像	出水市
奨励賞	麓 義盛	レースを着た孫娘M	阿久根市
奨励賞	北園ひろみ	花のリズム	出水市
奨励賞	島田 景子	夏	出水市
奨励賞	江島 光生	曾木の滝	伊佐市
奨励賞	中村 徳子	玉葱I	出水市
奨励賞	渡瀬 俊輔	哀れみの果てに見たもの	出水市
奨励賞	田中 妙子	ジャム作りの季節	始良市
奨励賞	蔵元 智子	水道橋のある街	鹿児島市
奨励賞	通島 義信	2013 彫刻家の自画像	出水市
奨励賞	野平 英	おかげさま	出水商業高等学校
委嘱推挙	戸子田玲子	雨の日のワルツII	さつま町
委嘱推挙	中村美代子	棚田・ライトアップ	阿久根市
招待推挙	池上 寛子	大空へ	出水市
ギャラリー賞	田尻幸一郎	初夏の城山公園	いちき串木野市
ギャラリー賞	児玉 信子	夏の足音	阿久根市
ギャラリー賞	梅田 正和	故郷へ	出水市

『第15回あくね洋画展』開催



◀あくね洋画大賞（一般の部） 『海Ⅱ』 蔭内 一行（阿久根市）

○受賞者のコメント
「今回が出品9回目でした。これまで待ち望んでいた賞がいただけて本当に嬉しいです。これからもおごることなく、自分の好きな絵を描いていきたいです」



蔭内 一行さん



▲阿久根市長賞（一般の部） 『港の鱗と記憶』 広高 涼（出水市）



▲市議会議長賞（一般の部） 『私的風景』 山元 敏弘（阿久根市）



▲教育長賞（一般の部） 『見えた』 樋渡 史生（薩摩川内市）



▲市文化協会賞（一般の部） 『漁具の休日Ⅰ』 桑原タツ子（阿久根市）



▲県美術協会賞（一般の部） 『家族の肖像』 川崎 貴朗（出水市）



▲阿久根市長賞（ジュニアの部） 『船』 白石 陽翔（阿久根小3年）

○受賞者のコメント
「絵に合った色を作るのがむずかしかったけど、上手に描けてよかったです」



田代小2年
尾原拓哉さん



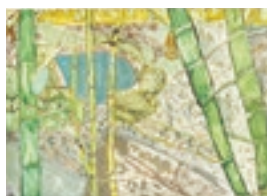
▲あくね洋画大賞（ジュニアの部） 『ぼくのかまきりかっこいい』 尾原 拓哉（田代小2年）



▲市議会議長賞（ジュニアの部） 『楽しく木登り』 園本 時紘（田代小4年）



▲県美術協会賞（ジュニアの部） 『学校の小さな池』 松下 沙矢（下水流小6年）



▲市文化協会賞（ジュニアの部） 『音楽室の楽器』 牟禮 魁師（大川中1年）

平成25年度 少年少女弁論大会

市

内の小・中学生による平成25年度阿久根市少年少女弁論大会が8月1日、阿久根中学校で行われました。

各校から小学生9人、中学生4人の弁士が登場し、審査員や先生、保護者らの前で、将来の夢や目標、意見などを堂々と発表しました。なお、大会結果については次の通りです。

【大会結果】（敬称略）

○市長賞

波留 育美（田代小6年）

「自然のすばらしさと

さんこくさ」

早水 美悠（三笠中1年）

「大切なもの」

○議長賞

梶尾 歩夢（阿久根小6年）

「言葉の力」

倉津 美里（阿久根中3年）

「夢に向かって」

○教育長賞

福留 明璃（脇本小6年）

「郷土芸能「山田楽」を

受け継いで」

田島 奈七美（折多小6年）

「できることから」

■小学生の部 市長賞

「自然のすばらしさと

さんこくさ」

田代小6年 波留 育美

「オスジカが、わなにかかったんだって。見に行くが。」

と、言う友達の声につられ、みんなでその場所に行ってみました。すると、前足がロープにしばられたオスジカが、みぞの中にはまりもがいていました。わたしは、オスジカの目を見てぞっとしました。「どうしてこんな目にあうの。」という声が聞こえてくるような気がしたからです。

わたしは、オスジカがかわいそうで頭からはなれませんでした。次の日、シカやシシ肉を処理し、安全供給するしせつが鶴川内に出来たことが新聞にのっていました。わたしはきのうのオスジカの悲しい目を思い出し、お金もうけのために、シカをぎせいにする人間の勝手さに腹が立ちました。その気持ちをおさえきれず、学校の近くで農業をしている、小園さんに気持ちをぶつけに行きました。小園さんに、あのオスジカの写真を見せると、

教えてくれました。

最近、シカが山からおりてきて、田や畑をあらすひ害が多くなっていること。

何万円もかけて2メートルのさくを作っても、それを軽々と飛びこえてしまうこと。

イネのほ先の実が、パツチリ入っておいしい部分だけを食いあらしていくことなど、どの話も、わたしの知らなかったことばかりでおどろきの連続でした。

今年、学校の中に手作り田んぼを作ったのも、去年のシカのひ害のせいだと言われました。

年々、山があらされ、シカのえさがなくなってきました。シカも生きるために必死なのです。でも、必死なのは、農家の人も同じです。小園さんは、一生けん命育てた作物がシカにあらされた時、くやしくて、残念で、やる気をなくすそうです。でも、

と笑う顔から、自然と戦おうとする強い意志が感じられました。わたしは、今まで、殺されるシカがかわいそうと思っていましたが農家の人にとって、シカのひ害は、生きるか死ぬかのしんこくな問題なんだ、シカも、人間も生きていく必死さに変わりはないと分かりました。

わたしは、田代小に特認生として来ています。6年生も田代小で過ごしたいと思ったのは、高松川です。つりや川遊び、米作りやシイタケさばいなど、自然の中での体験活動がやりたかったからです。また、校庭のセンダンの木も、毎年やってくるアオバズクも田代の自然すべてが、わたしを見守ってくれます。だから、自然は、すばらしいものだ。ばかり思っていました。しかし、今回のことで自然は、生きているものにとつてきびしい場所でもあるんだと気付かされました。

阿久根も自然が豊かな町です。市のキャッチフレーズ、「アクネ・う



【小学生の部】
市長賞
波留 育美さん
（田代小6年）





【中学生の部】
市長賞
早水 美悠さん
(三笠中1年)



■中学生の部 市長賞

「大切なもの」

三笠中1年 早水 美悠

「今、私は夢に向かってがんばっているよ。」

空を見上げて心の中でそつとつぶやいた、短いけれど、私の想いをこめたことば。妹のことを、毎日のように考えるようになったのは、私が小学校2年生で、妹が生まれる予定のあの日からでした。

私は、自分に妹ができるということを知った日から、毎日走って家に帰り、母のお腹に語りかけていました。

「早く出ておいで。待ってるよ。」

まいネ・自然だネ」は、その阿久根の良さを表すのにピッタリです。この自然とは、わたしたち人間だけに都合のいい自然ではなく、生き物たちにとっても、住みやすく共存できる豊かな自然であってほしいです。

私は、妹が生まれてくるのが、待ち遠しくてたまりませんでした。

4月のある日、いつものように走って家に帰ると、父がバタバタと荷物の準備をしています。幼い私でしたが、父の様子にハッと気づきました。

「赤ちゃんが生まれる。」

病院では先生が父に何か話していましたが、そのことばの意味は、2年生の私にはとうてい理解のできるものではありませんでした。でも、話している先生や父の様子から、「何か、大変なことが起きている。」ということを感じることができました。

分娩室に運ばれていく母の顔は青白く、ほほには涙が流れていて、とても苦しそうです。

分娩室から聞こえてくる母の声を耳にしたとき、私の胸は不安と怖さでいっぱいになりました。

「赤ちゃんは、無事に生まれるのだろうか？お母さんは大丈夫なの

だろうか？」

どのくらい時間がたったでしょう。ずつと聞こえていた母の音が、ふつと聞こえなくなったのです。一瞬、

「生まれたのかな？」

と思いました。でも、赤ちゃんの泣き声は聞こえてきません。その時です。隣にいた祖母が私に、「お母さんに『起きて！』と叫びなさい！」

と言ったのです。私は、何が何だかわかりませんでした。それでも祖母に言われるまま、母のいる分娩室のドアに向かって、必死になって叫びました。

「お母さん、起きて！」

その日のことを覚えているのはここまでです。あとで聞いた話では、私が叫んだその時、母は目を開き、また力を入れ始めたのだそうです。けれど、妹はこの世に生きて生まれることはできませんでした。

私の妹はきつとこの世に生まれてきたかったにちがいありません。でも、

「自分が生まれたら、お母さんの命があぶない。」

と、きつとそう思ったのです。母の命と妹の命。どちらが大切で、どちらが大切でないか、比べることができないものではありません。

私にとっても、私の家族にとっても、どちらもかけがえのない大切な命なのです。

初めて「命が失われる」ということを体験した私は、このときから「命」ということを意識するようになったと思います。そして、いつの頃からか、私の将来の夢は、「医者になる」ということになりました。それも小児科の医者です。日本中、いや世界中にたくさんいる「命が今にも消えそうになっている子どもたち」と、その子どもたちの命を「必死で守ろう」としている親たちを悲しませたくないという思いからです。妹に会えなかった分、他の子供たちの命を助けてあげたいと思うのです。

私のこの夢は、そんなに簡単には実現できる夢ではありません。勉強をすることは当然ですが、そのうえで、「命」というものを心から大切にできる人間にならなければならぬと思っています。私の周りには、数え切れないほどの尊い命があります。人はもちろんのこと、動物から植物まで、その命は小さくても大きな重みがあります。その一つ一つを大切にできる人間にならなければならぬと思います。

私の妹もきつと空の上から応援してくれていると思います。



「茨城県の水戸市に
5か月間滞在していました
が、どうしても納豆だけは
食べられません。でも、
豆腐は大好きです」

Hello, everyone!

スティーヴン・ガーキング
Steven Gerking

NATTO!
WAO!



新任のALTを
(外国語指導助手)
ご紹介します。



ん撮ってみたいです。

皆さん、こんにちは。私は、この度、阿久根の新しいALTとして勤務することになった、スティーヴン・ガーキングです。アメリカのカリフォルニア州フレズノの出身です。今年の7月まで南種子島町のALTとして勤務していました。

趣味は、写真を撮ったり、ジョギングをすることで、学生時代はアメリカンフットボールをしていました。特に写真を撮ることが大好きで、阿久根の町をドライブしながら、おもしろい写真を撮るた

好きな食べ物はピザですが、日本食では、唐揚げやカレーライスが好きです。でも、やっぱり一番は辛い食べ物ノアメリカでは辛さが100あるうちの70の辛さまで好んで食べていました。もちろん、日本のワサビもOKです。

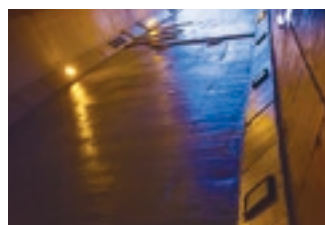
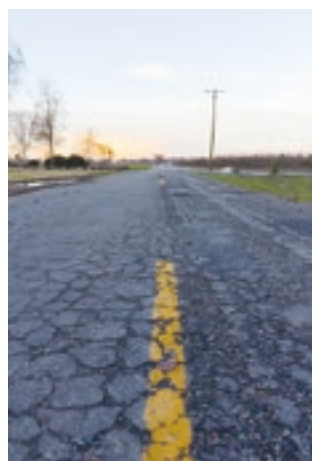
そんな私ですが、どうしても食べられない日本食があります。それは、「納豆」です。大好きな方には申し訳ないのですが、茨城県の水戸市に交換留学生として5か月間滞在していた時に出会ったので

すが、これだけではどうしても食べられませんでした。でも、豆腐はぜんぜん平気。大好きです。

私は今、阿久根に住むことができ、とてもハッピーでワクワクしています。阿久根の子どもたちにも英語をいっぱい好きになってもらえるように、楽しく教えられたらいいなと思っています。

一生懸命がんばりますので、今後ともよろしくお願いします！
(追伸)

下の写真は、故郷アメリカと南種子島町などで撮った写真です。



photographs by Steven Gerking▲

働く女性の家 後期講座のご案内

募集締切 9月27日(金)

※主に18歳以上で市内在住または在勤の女性であれば受講できます。

リフレッシュ・ヨガ
(全10回)

◆第2・4金曜日 10:00～12:00
◆開講日 10月11日(金)
◆期 間 10月～3月
◆定 員 16名



ストレスや疲労でかたくなった身体と心をヨガでリフレッシュしませんか？ヨガ初心者の方大歓迎です。

**旬野菜が主役の
オリーブオイル料理** (全6回)

◆第3水曜日 10:00～13:00
◆開講日 10月16日(水)
◆期 間 10月～3月
◆定 員 16名



オリーブオイルソムリエと一緒に旬野菜をオリーブオイルで体にやさしく食べてみませんか？調理後、試食あり。

はじめてのパンづくり
(全6回)

◆第3土曜日 10:00～13:00
◆開講日 10月19日(土)
◆期 間 10月～3月
◆定 員 15名



焼き立てパンを楽しむために基礎から学びましょう。調理後、ティータイムがあります。

簡単エアロビック体操
(全10回)

◆第2・4金曜日 19:00～20:30
◆開講日 10月11日(金)
◆期 間 10月～3月
◆定 員 20名



体力の衰えを感じる方、エアロビック・筋トレ・ストレッチを組み合わせた楽しい体操で健康維持しましょう！

女性の再就職応援セミナー (全2回)

◆定員 16名 (再就職・転職を希望し、2回とも参加できる方)

◆第1回 知って得する社会保障
◆開講日 1月25日(土) 13:30～15:30



社会保険労務士から就活前に知っておくとお得な社会保障(健康保険や年金、労働ルール)について学びましょう。

◆第2回 夢を叶えるマネープラン
◆開講日 2月8日(土) 13:30～15:30



マイホームや教育費などの夢を叶えるためにはどうすればよいか金融広報アドバイザーと一緒に考えてみませんか。

おうちで楽しむキムチ漬
(全2回)

◆開講日 11月19日、26日(火) 10:00～12:00



◆定 員 16名

今年の冬は、白菜キムチ漬に挑戦してみませんか。作った白菜キムチを利用したキムチ料理も学べます。

味噌づくり
(全2回)

◆開講日 10月22日(火)、24日(木) 9:30～15:00



◆定 員 24名

家庭の味 お味噌を手作りで！お昼をはさみますので、軽食を持ってくるください。

認知症サポーター養成講座
(全1回)

◆開講日 2月12日(水)14:30～16:00
2月22日(土)10:00～11:30



◆定 員 15名

認知症の方やその御家族を見守る方法について学んでみませんか。男性の参加もお待ちしています。

セルフ・リンパドレナージュ
(全1回)

◆開講日 10月26日(土) 10:00～12:00



◆定 員 16名

お顔周りの滞ったリンパ液を排出(ドレナージュ)させて、すっきりとした「小顔」を目指しませんか？

※受講料無料。ただし、材料費・資料代は実費負担。
※無料の託児があります。(満2歳～未就学児に限る。)
※複数申込可。ただし、申込者多数の場合、抽選を行います。

【申込み・お問い合わせ先】

◇働く女性の家 ☎ FAX 0996-73-3769

◇企画調整課 企画推進係

☎0996-73-1214(直通) FAX 0996-72-2029

メールアドレス kikaku@city.akune.kagoshima.jp

※フリーメールアドレスを通じた申込みは確認ができない場合があります。

申 込 書

受 講 講 座 名	第1希望	第2希望	第3希望
氏 名 (年 齢)	氏 名 (歳)		
住 所	阿久根市 (区)		
連絡先(自宅・携帯)			
職 業 の 有 無	有・無 ※市外在住の場合勤務先 ()		
※託児希望の場合 子供の氏名 年齢 性別	氏 名 (歳) 男・女		

認知症予防講演会

わかりやすく、
ユーモアたっぷり。
認知症を予防する
講演会です。

講師：大川診療所 医師
黒田 篤 先生
(市比野記念病院 院長)

「家族が認知症でどうしたらよいかわからない」「認知症になったらどうしよう」と悩んだり、不安に思っている方いらっしゃいませんか？
そこで、認知症の症状や原因、治療、接し方などについて、専門の先生にわかりやすく講演をしていただきます。皆さまのご参加をお待ちしています。



▲昨年、7月25日に脇本地区公民館で行われた認知症予防講演会。先生のわかりやすく楽しい講演に、会場は皆さんの笑い声や感嘆の声で包まれていました。

■開催日

- ・10月9日(水)
市民会館 第2会議室
- ・10月23日(水)
鶴川内地区集会施設

■時 間

開会 午後6時30分～
講演 午後6時45分～
午後8時終了(予定)

■演 題

「今日から始める認知症予防」

■参加料 無料

※阿久根市さわやかクラブ連合会の会員の方々は、「高齢者元気度アップポイント事業」の対象となります。

【問い合わせ先】

地域包括支援センター
☎0996-73-1272
(直通)



10月1日から

阿久根市民病院の名称が

「出水郡医師会

広域医療センター」

に変わります。

理念：地域医療の中核施設として、
ひとを大切にし、信頼される医療を目指します。



◀高度医療への
取り組み
最新の医療機
器を備え、検
査から治療・
緩和ケアま
で、最適な医
療の提供を目
指します。



◀救急医療への対応
昨年1年間で1,806
台の救急搬送があ
りました。100%の
受け入れに努力し
ています。



▶地域との交流▶
住民の皆さまの
健康保持と親睦
のため、健康フェ
スタを毎年開催
しています。



10月1日から「出水郡医師会
立阿久根市民病院」の名称
が、「出水郡医師会広域医療セン
ター」に変わります。

平成元年10月1日、国立病院の
民間移譲として全国で初めて誕生
した阿久根市民病院も、今年で満
25歳を迎えます。この間、住民の
皆さまに支えられながら、地域医
療を守るため、努力して参りました。

当院は、出水郡の医師会病院と
して阿久根市、出水市、長島町の
広域を対象としています。これ
までの「阿久根市民病院」の名称
のままでは、その実態がなかなか
分かりにくい状況にありました。

現在、当院の患者様の約半分は、
阿久根市以外からの受診となつて
います。そこで、この25年という
節目を契機に、出水郡広域の高度
医療を担っていく中核病院として、
本来の役割を明確にし、皆さまに
よく理解していただくため、今回
の名称変更に踏み切りました。

これから、阿久根市はもとよ
り、出水郡全体の地域医療発展の
ため、ますます尽力して参ります。
これまで同様、「出水郡医師会広
域医療センター」をよろしくお願
いいたします。

出水郡医師会

子宮頸がん・乳がん（昨年度未受診） ・骨粗しょう症検診のお知らせ

20・30歳代で子宮頸がん、40歳代では乳がんが増えています。この2つのがんは、早期発見・早期治療をすれば、より高い確率で完治します。乳がん検診は2年に1回、子宮頸がんは毎年受診することが勧められています。市では下記のとおり検診を実施しますので、ぜひ、この機会に女性がん検診を受けましょう。

■子宮頸がん検診

【対象者】 阿久根市在住の20歳以上の女性

【検診料】 700円

※平成24年4月2日～平成25年4月1日までの間に20歳・25歳・30歳・35歳・40歳になった方は無料です。

■乳がん検診

【対象者】 阿久根市在住の40歳以上で昨年未受診の女性

【検診料】 40歳代 1,500円（2方向）
50歳以上 1,000円（1方向）

※平成24年4月2日～平成25年4月1日までの間に40歳・45歳・50歳・55歳・60歳になった方は無料です。

検診で、
安心♥
見つけて
みませんか？



■骨粗しょう症検診

【対象者】 阿久根市在住の40歳以上の女性

※40・45・50・55・60・65・70歳の方

【検診料】 200円

※対象者以外でも、希望する方は受けられます。

■受付時間 午前の部 8:30～9:00

午後の部 12:30～13:00

■期日・場所

実施日	曜日	会 場	
		午 前	午 後
10月27日	日	阿久根市保健センター	阿久根市保健センター
10月28日	月	阿久根市保健センター	阿久根市保健センター
10月30日	水	阿久根市保健センター ※乳がん検診はありません	阿久根市保健センター ※乳がん検診はありません
10月31日	木	西目地区集会施設 ※乳がん検診はありません	西目地区集会施設 ※乳がん検診はありません
11月1日	金	鶴川内地区集会施設	脇本地区公民館
11月2日	土	脇本地区公民館	脇本地区公民館

結核レントゲン 検診を実施します



65歳以上の方は、年1回は受診するよう感染症法という国の法律で義務付けられています。

9月24日～30日は、結核予防週間です

■対象者 5月の肺がん検診を受診されなかった65歳以上の方

■検診料 無料

■期 間 10月15日(火)～10月17日(木)

※場所については、健康増進課保健予防係までお問い合わせください。



健康増進 普及月間

期間：9月1日～9月30日

近年の日本の平均寿命の伸びや、健康水準の向上は目覚ましいものがあります。しかしながら、社会生活環境の急激な変化に伴い、糖尿病・がん・心臓病・脳卒中等の生活習慣病の増加が大きな問題となっています。

今後の高齢化や疾病構造の変化を考えれば、生活習慣の改善を図り、生活習慣病等の発病を予防する対策を推進し、認知症もしくは寝たきりにならない状態で生活できる期間(健康寿命)の延びを図っていくことが課題です。

『平成25年9月1日～9月30日』は、健康増進普及月間です。全国的に様々なイベントが実施されます。私たちも、一度自分の生活習慣に目を向け、小さな努力の一つから始めてみましょう！

標語

1に運動
2に食事
しっかり禁煙
最後に薬

+1皿



…毎日プラス1皿、
野菜で健康生活

※大人が1日に必要とされる野菜の量は350gで、日本の平均摂取量に1皿加えた量に相当します。意識しておいしく野菜を摂ることで、理想的な食生活に近づきます。

高齢者のインフルエンザ 予防接種のお知らせ

予防接種法に基づき、高齢者等のインフルエンザ予防接種を実施します。対象者には9月中旬ごろ個別に予診票を配布しますが、インフルエンザの予防接種は、接種を受ける法律上の義務はありません。自らの意思で予防接種を希望する方が、自己責任で受けるものです。

■対象者

- (1) 65歳以上の方
(昭和23年12月31日以前に生まれた方)
※接種時に満65歳以上であること。
- (2) 60歳以上65歳未満の方で、心臓、じん臓または、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障がいや有する方およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいや有する方

■実施期間 10月1日(火)～12月31日(火)
※休診日を除く

■実施場所 各医療機関

■自己負担 1,000円
※接種の際は、予診票(水色)を必ず持参してください。

【問い合わせ先】

健康増進課 保健予防係

☎0996-73-1228 (直通)





南九州西回り自動車道（陳之尾区）

南九州西回り自動車道（阿久根市薩摩川内）の公聴会

県では、南九州西回り自動車道の都市計画決定にあたり、住民の皆さまのご意見を伺うため公聴会を開催します。

公聴会で意見を述べたい方は、県庁都市計画課へ公述申出書などを郵送またはFAX等で提出してください。

◇日時 10月2日（水）午後7時

◇場所 西目地区集会施設

◇公述申出書提出期間

9月17日（火）～9月25日（水）

※詳細については県庁都市計画課または、都市建設課都市計画係までお問い合わせください。

※問い合わせ先

・県都市計画課

☎099（286）3678

FAX099（286）5633

・都市建設課 都市計画係

☎0996（73）1196（直通）

県立出水養護学校の体験入学

◇日時 10月16日（水）

午前8時50分～12時10分

※教育相談を受ける方は、午後2時30分終了予定

◇対象

- ・来年度就学予定の幼児とその保護者
- ・現在、小学6年生、中学3年生に在籍している児童生徒とその保護者
- ・教育関係者など

◇参加希望の方は、お早めにお申し込みください。

※申込み・問い合わせ先

県立出水養護学校 体験学習係

☎0996（63）3400

FAX0996（63）3422



県立出水養護学校（出水市）

JICAボランティア秋募集説明会

「青年海外協力隊」「シニア海外ボランティア」の秋募集が10月1日（火）から11月5日（火）の期間で実施されます。興味のある方は、お問い合わせください。

※問い合わせ先

JICAデスク鹿児島

☎099（221）6624

<http://www.jica.go.jp>

「全一斉」法務局休日相談所開設

土地建物の売買・相続、境界問題や登記、戸籍・国籍等の問題、供託、人権問題などでお困りの方は、ぜひこの機会にご相談ください。専門のスタッフが無料で相談をお受けします。なお、予約は不要です。

◇日時 10月6日（日）

午前10時～午後4時

※受付は午後3時30分まで

◇場所 川内地方合同庁舎

薩摩川内市若葉町4番24号

※問い合わせ先

川内地方法務局 川内支局

☎0996（22）2300

「特設人権相談」を開設

人権尊重思想の普及高揚を図ることを目的に、人権擁護委員および法務局職員が「特設人権相談」を実施します。

家庭内の問題や子ども、女性、高齢者および障がい者等の人権問題でお困りの方は、ぜひこの機会にご相談ください。なお、相談は無料で、秘密は堅く守られます。なお、本市では次の方々が人権擁護委員として活動しています。

教育委員長職務代理者 田野美恵子氏 逝去

心からご冥福をお祈りいたします

田野美恵子氏は、平成14年4月から3期、9年11か月の長きにわたり、教育委員として在職され、阿久根市の教育水準の維持向上および地域の実情に応じた教育の振興に尽力されました。

また、近年は教育委員長職務代理者としても活躍いただいております。

ここに、氏の生前のご尽力に対し、感謝を申し上げ、心から哀悼の意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

◇人権擁護委員

・大石 啓元 波留5572番地1

・奥平 勝美 大川5480番地

・前田 和子 脇本1437番地

・岩森 多津子 波留476番地1

◇日時 10月10日（木）

午前10時～午後3時

◇場所 市民会館 第1会議室

※問い合わせ先

市民環境課 住民年金係

☎0996（73）1218

「巡回相談会」の開催

出水保健所管内の混合性結合組織病で治療中の患者や家族を対象に、相談会を開催します。県難病相談・支援センター主催。参加費無料。

◇日時 10月11日（金）

午後1時30分～午後4時

◇場所 阿久根市保健センター

◇対象者

特定疾患治療研究事業受給者および

まちのイベント紹介▶▶▶

12月8日(日)
午前8時45分 開会式

**市総合運動公園
発着コース**



第30回記念 あくねボンタン ロードレース大会 参加者募集!

問い合わせ先

阿久根市体育協会
(市総合体育館)

☎0996-73-4649



ゲストランナー
浅利 純子さん

今回は、第30回記念として1993年世界陸上女子マラソン金メダリストの浅利純子さんが、ゲストランナーとして参加します。雨天決行。

◇申込期限 11月11日(月)まで

◇種 目 3 km、5 km、10km、ハーフマラソン

10月24日(木)
午前9時～

**市総合運動公園
陸上競技場**



第15回 (公財)阿久根市美しい海のまちづくり公社 GG大会参加者募集!

問い合わせ先

(公財)阿久根市美しい海のまちづくり公社

☎0996-72-1755

FAX0996-72-1513

◇参加資格 市内在住の方で、年齢、性別は問いません。

◇参加費用 1チーム 1,000円
※大会当日に徴収します。

◇申込期限 9月17日(火)～10月4日(金)

◇先着96チームで締め切りますので、お早めに申し込みください。

その家族や関係者。対象疾患は「混合性結合組織病」です。

◇講話

「混合性結合組織病をよく知ろう!」

・講師

鹿児島赤十字病院(リウマチ科)

秋元 正樹先生

※質疑応答、個別相談(希望者3名まで)も実施します。

◇参加申込方法など

10月4日(金)午後5時までに、電話でお申し込みください。

※申込み・連絡先

・出水保健所 保健係

☎0996(62)1636

・県難病相談・支援センター 相談課

☎099(218)3134

行政相談所の開設

市では、行政相談委員が、国の行政機関などの業務について、無料で相談に応じる行政相談所を開設します。

なお、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

◇日時 10月22日(火)

午後1時30分～午後4時

◇場所 市民会館 第6会議室

※問い合わせ先

・阿久根市の行政相談委員

濱崎 いづみ

☎0996(72)0242

オータムジャンボくじ発売

宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや高齢化対策など、地域住民の福祉向上のために使われます。

◇一等 3億3千万円×13本

前後賞各 3千万円×26本

◇発売期間 9月20日～10月11日

◇抽選日 10月18日(金)

住宅・土地統計調査にご協力を!

平成25年10月1日現在で、住宅・土地統計調査が実施されます。

この調査は、5年ごとに行われる住宅や土地に関する統計調査で、国や県、市町村が住生活基本計画やまちづくり政策などを立案するために必要となる

大切な資料になります。

9月下旬に対象世帯に調査員証を携

帯した調査員が、調査票の記入のお願いに伺いますので、調査へのご理解とご協力をお願いします。

なお、調査した内容は、統計資料の作成以外の目的に使用することは一切ありませんので、安心してご記入ください。

※問い合わせ先

企画調整課 統計調査係

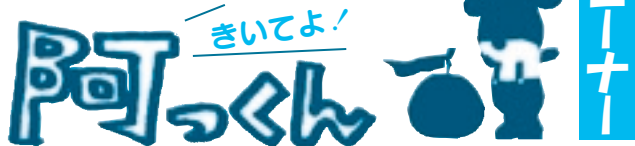
☎0996(73)1215(直通)



一住まいから描く日本の未来地図一



読者のお便り紹介



朝、西目の飛松海岸を親子で散歩しました。ここは、毎年ウミガメが上陸するうえ、景観がとてもすばらしく、海を眺めながらの散歩は気分爽快です。数日前、子ガメが海に帰っていく姿を目撃しました。他にも何匹か上陸が観察されています。今後もうごく楽しみでステキな所です。

(PN/馬見新親子さん。50代女性)

西目の飛松海岸は、本当に景色がきれいで、散歩コースとしては絶好の場所ですね。また、今年の同海岸へのウミガメ上陸は、市が確認しているだけでも4回確認されています。



西目の飛松海岸



◀ 帰郷の折、飛松海岸を散歩された投稿者

◀ 海岸を見守り続けるえびずさん



◆応募方法

郵送もしくはメールで、お便りをお寄せください。氏名（ペンネーム可）・住所・電話番号・年齢・性別・本紙へのご意見やご要望などをご記入ください。なお、掲載紙面の都合上、要約またはご照会できない場合もあります。また、個人を特定する情報は削除します。

◆応募先

〒899-1696
阿久根市鶴見町200番地
阿久根市役所総務課
「きいてよ/阿っくんコーナー」まで
E-mail: info@city.akune.kagoshima.jp
※フリーメールアドレスは不可
☎0996-73-1208（直通）

図書館へ行こう！

市立図書館
開館時間

☎0996-72-0607
午前9時～午後7時

郷土の歴史を学ぼう

図 書館の2階、3階には農具等の民俗資料や県指定有形文化財である『阿久根砲』（阿久根浜で発見された16世紀頃のもので長さ約3メートル）など、阿久根の歴史が学べる資料館を併設しています。お気軽にご来館ください。入場は無料です。

新刊案内

・『グラウンドの詩』 あさの あつこ（著）
心に傷を負ったピッチャー、透哉と奇跡の出会いを果たしたキャッチャーの瑞希。バッテリーを組んだ2人は、地区予選を勝ち抜き、ついに全国大会出場の切符を手に入れるが…。

・『無垢の領域』 桜木 紫乃（著）
悪意も邪気も欲もない「子どものような」純香がやってきた瞬間から、大人たちの安穏な日常は歪んでいく…。心の中の一番隠しておきたい部分をえぐり出す長篇小説。



◀ 資料館は、考古歴史室と民俗資料室とがあり、郷土の書や絵、民具、写真等を展示紹介しています。

・『文士の友情』 安岡 章太郎（著）
吉行淳之介の恋愛中の態度に驚き、遠藤周作にキリスト教受洗の代父を頼み、島尾敏雄の戦後の苦闘に思いを馳せ、小林秀雄に文士の心得を訊く。

・『お月見テンテン』 蜂飼 耳（作）
おくはら ゆめ（絵）
近所のおばあさんのねね子さんからお月見に誘われたさや。友達と一緒にねね子さんの家に行きました。すると、ウサギに似たテンテンという宇宙人を紹介されて…。

人命救助で柙隆博さん表彰



◀ 8月26日、表彰の報告に市役所を訪れた柙隆博さん（左）

柙さんは、7月11日のお昼頃、高之口港の岩場近くで、転覆した漁船に掴まって救助を求めている船長を発見し、現場に急行して救助を行い、串木野海上保安部長より表彰を受けました。

転覆した漁船の船長によると、この日はうねりがあり、船の後ろから波を被って転覆したとのことで、ライフジャケットは未着用でした。

柙さんは「海難事故に遭う人を見ることも多く、今回は人命が救えてほっとした。車のシートベルトと同じで、海ではライフジャケットをきちんと着用することが大事」と話してくださいました。

阿久根短歌会

※送り仮名は歴史的仮名遣いを使用しています。

扇風機の風足裏に当てながら午睡してをり残暑の日々を
うたた寝に聞きしはまさに母の声御霊なるべし盆近まりて
年々^{としとし}にめぐりの木々は生ひ茂る家は古りたりわれも老いたり
一身に殻^{から}を纏^{まと}へるかたつむりひとすぢの道をゆつくり歩む
花火して「ワクワクするね」といふ孫の輝くひとみ月もさやかに
遠泳に錦江湾を横断す松原小の児童あつぱれ
送り来し山梨の桃丸ごと食^たぶみずみずしき香の体に広がる
庭に咲くサルスベリの赤き花 朝夕ながめて心のなごむ
老いかさね耳も遠くなりぬれど夢に会ふ人はつらつとして
梅雨の夜の雲のカーテンおし開けて見る月影のなつかしきかな

河南誠一郎 白濱 ノブ 亀澤 笑子 有田イチエ 佐潟 俊子 野村 克江 木場 克子 川畑 スミ 遠矢 律 別府 義明



「広報あくね」の800号発行を記念して、読者コーナーを新設し、巻末のフレッシュスマイルのコーナーを一新しましたが、いかがでしたでしょうか。

読者コーナーは、皆さまのお便りで成り立っています。「こんな特集があったらいいな」「阿久根のこの景色はすごいよ」等、どしどしお便りを募集していますので、お気軽に投稿をお願いします。

また、フレッシュスマイルについても同様に、「阿久根の元気者」を紹介するコーナーです。年齢・性別は問いませんので、こちらもお気軽にご連絡いただければ幸いです。今後ともよろしく願います。

(寺園)

うぶごえ

※敬称略

出生児 保護者(区名)

松元 光^{ひかる} 強太(遠矢)

浅尾 心結^{こみゆ} 愛(折口東)

尾崎 光輝^{こうき} 光明(波留)

飛松 璃奈^{りな} 竜介(大尾)

森山 太陽^{たいよう} 誠太(大丸)

健やかな成長を
お祈りいたします。

田上 光希^{みつぎ} 雄二(寺山)

牧野 夏妃^{なつみ} 義人(新町)

早水 琢真^{たくま} 健児(古里)

鶴崎 晴喜^{はるき} 喜一郎(上野)

おくやみ

※敬称略

死亡者^輪 区名 代表者

中村 正幸^{まさゆき} 69 (大丸) 優子

波留 修^{しゅう} 88 (大丸) 修一

川畑 時義^{ときぎ} 91 (新町) 修二

牛之濱 アキ^{あき} 98 (牛之浜) 坂見

出口 ミツ子^{みつこ} 89 (仲仁田) 寛

田野 美恵子^{みえこ} 75 (新町) 郁郎

倉津 務^む 80 (倉津) 葉子

川原 肇^{はつ} 81 (一段) 伊積親義

末吉 已喜三^{いきさん} 83 (遠矢) ノブエ

田中 キヨ子^{きよこ} 80 (梶) 政雄

児玉 シモ^{しも} 85 (湯) 良雄

新戸 チミ子^{ちみこ} 81 (飛松) 康弘

中原 秋友^{あきとも} 91 (大丸) フミエ

大田 岐吉^{ききち} 80 (尻無丸) 泰三

牛ノ濱 八男^{やち男} 64 (大川島) 真理子

是枝 新治^{しんじ} 80 (穂之浦東) ナツエ

ごめい福を
お祈りいたします。

野崎 重範^{しげのり} 84 (深田) 清二

池之原 昭^{あき} 82 (波留) ヨシ

波留 一男^{いちお} 48 (波留) 美香

神之田 敏一^{としのた} 71 (仲仁田) やす子

神之田 ヨシノ^{よしの} 99 (仲仁田) 礼子

猿樂 ハルエ^{はるえ} 87 (浦) 豊

長谷 等^{ひとし} 79 (波留) 時枝

堀切 文夫^{ぶんぷ} 89 (浦) 直美

大田 公徳^{こうとく} 58 (大尾) ミチ

折橋 ツギエ^{つぎえ} 100 (弓木野) トミエ

川畑 乃一^{のいち} 101 (的場) 詳二

大田 譽男^{よお} 68 (山下馬場) スミエ

遠矢 律^{りつ} 92 (新町) 啓子

川畑 順一^{のり} 79 (高松) ミネ

脇黒 ミス子^{みすこ} 89 (永田下) 崑^{きん}子

尾上 ヨシ子^{よしこ} 74 (遠矢) 久田広

人のうごき

8月31日現在
()は前月比

人 □
22,704人
(-33人)

男
10,635人
(-17人)

女
12,069人
(-16人)

世帯数
10,548世帯
(-5世帯)

出生 8人
死亡 40人
転入 46人
転出 47人

さがた ありさ
佐潟 亜利沙さん
(21)

【勤務】
さんばちQ阿久根石油(株)



- ◇趣味：ゴルフ
◇理想のタイプ：
きちんと叱ってくれる人
仕事をがんばる人
◇阿久根へひと言：
スタバのドライブスルー
が阿久根にできてほしい。



高校を卒業し、入社して2年6か月。
SS職員ということもあって、暑さと寒さが身にしみますが、若いので大丈夫！とまぶしい笑顔を見せてくれた佐潟さん。

店長の井龍優太さんによると「誰に対しても、垣根がなくて人懐っこい。休みなどで彼女がお店にいないと、『今日は、あの子はいないの?』とお客様から尋ねられるなど、お店のマスコットの存在です。これまで同様、どんどん自分のファンを増やし、バリバリ頑張ってくれば」とのこと
で、かなりの元気者のようです。

佐潟さんは、「接客が楽しくて、自分に向いていると思う。将来は、みんなを引っ張っていけるようなスタッフになりたいです。ぜひ、気軽にお店に遊びにきてください」と話してくれました。

有料広告

女性が一人でも気軽に安心して入れる店



日替わりランチや
弁当も出来ます

トースト・サラダ・果物・つまみ・ゆで卵・有機栽培コーヒー
喫茶 みんなの部屋 ☎64-6288
阿久根市塩鶴町1-89
ジョイフルより南へ100m(朝7時から営業) 月曜休み (店主) 岩崎一男

第7回 阿久根伊勢えび祭り

10月31日(木)まで



市内協賛店舗にて開催中
※のぼりが目印です

問い合わせ先

阿久根市観光連盟
「阿久根まちの駅」
☎0996-72-3646

阿久根の豊富な海・山の幸を活かした“食のまちづくり”の一環として、『阿久根伊勢えび祭り』を開催しています。お店ごとに特色ある伊勢えび料理が食べられます。旬のぶりの伊勢えびをこの時期にぜひ味わってください。

有料広告

なが しま まりん
弁護士 永 嶋 真 倫 (鹿児島県弁護士会所属)
よね だ せいご
弁護士 米 田 圭 吾 (鹿児島県弁護士会所属)

出水法律事務所

住所：出水市昭和町3-24

電話：0996-79-3535

相談時間 平日(月曜日～金曜日)

午前9時30分～午後5時まで ※土日・祝日はお休みですが、平日にご都合がつかない場合にはご相談ください。

法律的なアドバイスが必要なこんな時…

- ・相続や遺言について聞きたい
 - ・離婚をしたい
 - ・借金のことで相談したい
 - ・経営が苦しい
 - ・会社・個人事業の顧問になってほしい
 - ・会社と従業員の問題で相談したい
 - ・その他、幅広い分野を取り扱っています。
- 皆様がお困りのことについてお気軽にご相談ください。

